

質問事項	質問の要旨
1 地域づくりの空白をなくそう	災害公営住宅、宮ヶ崎2期も引き渡しを終え、3
	期も3月末完成を目指しています。自立再建、高台
	居住区は、堀切山地区が残るばかりです。
	避難所から仮設住宅へ、そして安住の地へと移る
	わけですが、そのたびごとにコミュニティ再編、地
	域づくりが課題となっています。
	ところが、換地で自立再建した地区に、どこの行
	政区に所属するのかわからない、広報も来ていない
	という世帯がありました。旧上2区です。旧西1区
	でも同様のことがありましたが、今は改善されたよ
うです。それらの世帯には、防災無線の個別受信機	
もついていません。	
町民生活課、総務課、企画課、その他各課の連携	
を密にして、このような空白地帯をなくすべきでは	
ありませんか。	
(質問の相手：町長・担当課長)	

質問事項	質問の要旨
<p>2 水産物に国際認証を取り入れては</p>	<p>去年は、シラス、ホタテ、サンマが不漁でした。</p>
	<p>今、新聞では、ウナギの稚魚の大不漁が報じられています。</p>
	<p>1997年、ヨーロッパで、水産資源を守るため、持続可能性に配慮した漁業を認証する機関MSC（海洋管理協議会）が設立され、2010年にはASC（水産養殖管理協議会）も設立されました。</p>
	<p>日本ではまだ認知度が低いですが、2016年南三陸町戸倉のカキが認証されました。現在、4品目が認証、予備審査を終え認証手続き中が20品目、予備審査中が15品目といます。</p>
	<p>今後、このような傾向は加速すると思われます。</p>
	<p>女川でも国際認証を取り入れてはいかがですか。</p>
	<p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>